

## 地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 6 月 30 日
事業所名	グループホーム ひだまりの家(やすら樹)
事業所番号	2374500599
記入者名	職名 計画作成担当者 氏名 水谷 健作
連絡先電話番号	0561-53-8700

(様式1)

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念をホーム玄関に設置し、各ユニットにもそれぞれ簡略化された理念を掲げ、入居者、家族、来訪者に分かりやすく掲示しています。	
2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設全体の理念（我が家のようにくつろげる、やすらぎのある生活を支援する）、ユニットごとの理念（1階くつろぎ・2階やすらぎ）、ユニット名（1階くつろ樹・2階やすら樹）、それぞれが共通点を持ち、又それらを見やすい場所に掲げ、常日頃から実践できるように取り組んでいます。	
3	家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域への啓発、広報についての必要性は認識しており、地域への声かけ（自治会長、民生委員）など行っていますが、具体的な活動にはまだ至っていない状態です。	ホームの便りや広報用パンフレット等を作成し、認知症高齢者の理解に向けた地域への広報活動の実施を取り組んでいきたいと思っています。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時等、近隣の方々に声かけをしたり、地域の方のボランティアを受け入れたり等していますが、近隣住民に認知症高齢者・グループホームを理解していただき、訪問していただくような積極的な働きかけには至っていない。	地域の方たちが介護の相談やホームのイベント等、気軽に立ち寄って頂ける様に働きかけていきたいと思っています。
5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のイベント（ふれあい運動会、子ども会のイベント、等）に利用者様、又ホームが無理のない程度に極力参加を心掛けています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を通じて、自治会長や民生委員に働きかけているが、地域貢献には至っていない。		ホームの便りや広報用パンフレット等を作成し、地域の高齢者の暮らしについて情報収集を行い、話し合いや相談窓口の場を作って行きたいと思っています。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の結果をミーティングにて職員の間で検討し改善されている点もあるが、課題も残っている。		改善されている点も含め、自己評価、外部評価結果を今後も十分検討し、質の向上に努めて行きたいと思います。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	検討内容を職員間に報告し話し合い、利用者様に質の良いサービスや我が家として今まで以上に安心したやすらぎの空間を提供できるように努めています。		まだ開催数3回とあって、運営推進会議の内容、評価がサービスの向上に浸透しているとは言えない。今後の運営推進会議の検討内容を更に活かして行きたいと考える。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行き来する機会はあるものの、サービスの質の向上には、繋がっているとは考えにくい。		ホームのサービスや地域の高齢者の状況等、市町村担当との情報交換の場を作り、サービスの質の向上に繋げて行きたいと考える。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	1件の事例はあるが、利用者様とご家族の問題と受け止め、管理者や職員は関与しておらず、認識は薄いと考える。		市町村との連携により、地域権利擁護事業や成年後見制度についての情報、講習会などに参加し、支援できる体制を整えたいと思います。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内での虐待が発生しない様に、定期的ミーティングにて話し合い、又常日頃から職員間でも声をかけ合い利用者様が安心して生活が送れる様に努めています。		ホームやセミナー、勉強会に積極的に参加し、今後は活かして行きたいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所の際にひだまりの家の概要、入居契約、重要事項等を分かりやすく説明し、納得していただいています。又、今までの不安や負担もお聞きし、今後のサービスに活かせる様に、十分に話をしています。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日々の暮らしの中で、利用者様が気軽に職員に意見、不満、苦情や要望が言える状況を作り、すぐに反映できる対応をし、その人らしく生活が送れる様に努めています。</p>	<p>外部者へ表せる機会は設けておらず、今後はその機会を作り運営に反映させていきたいと思います。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>ご家族が面会に来所された際は、利用者様の状態や暮らしぶり、今後のイベント等の告知など常日頃からお伝えしています。又毎月1度、暮らしぶりを写真や文章にて報告しています。</p>	<p>職員の移動等については報告しておらず、書面もしくは口答にてお伝えしていきたいと思います。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族からの意見、苦情等があった場合は直ちに対応し見直しをしています。又重要事項書に苦情申し立ての記載をし、管理者や職員だけではなく外部機関への苦情窓口案内も利用できる様にしています。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的にミーティングを開き職員との意見交換、意欲やアイデア等を尊重し運営に活かしています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者様の状況に応じて看護師の勤務変更やイベント等の職員の勤務変更等話し合いの場を設けて柔軟に対応しています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	常日頃から職員間との信頼関係を作り、やる気や意欲を引き出せるように努め、離職を最小限に抑えています。又ユニットへの異動も必要のない限り固定しています。		
<b>5.人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験等により、研修参加の取り組みを行い、ミーティング等にて発表の場を作っています。又個々のスキルアップの為、要望があれば、勤務調整も行っています。		
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者施設の見学、交流はありますが、回数は少なく十分とは言えない。又他施設への職員研修会の話はあるが、実施には至っていない。		同業者への連絡を密にし、研修会等を実施してレベルアップを図り、また情報交換の場を持てるようにしていきたいと思います。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	週40時間の勤務体制を取り、精神的にも肉体的にも十分に休暇が取れる様にしています。又職員の業務上の悩み等、相談できる様にし時々親睦会も開催しています。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は定期的に管理者や職員と話し合いの場を持ち、実績や勤務状況を把握し、スキルアップの為の助言や方向性について話し合っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所の際、環境に慣れるまで利用者様本人からホームでの生活の希望や不安を十分に聞き、安心して納得していただける様に対応しています。又日頃から常に声かけをし、生活の中で不備や不安等が生じた場合も利用者様と一緒に考え、対応に努めています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族が現時点で困っている事、不安に思っている事を話し合い納得していただける様に対応しています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者様、ご家族の問題点や不安、悩み等を十分に聞き軽減に努めています。又今後のサービスの内容等についても相談し説明をしています。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所初期は、利用者様が環境の変化に少しずつでも慣れて頂けるよう職員が気を配り、又利用者同士の間に入り、コミュニケーションが図れるよう配慮しています。ご家族とも連絡を取り合っています。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員はユニット毎を1つの家族と念頭に置いて、ただ介護すると言う立場ではなく、日常生活の中で利用者方の長年の知識や経験から教えられることは多くあり、利用者様、職員が共に支えあいながら毎日を送っています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が来所された際、利用者様の状況や暮らしぶりはもとより、他の情報や世間話もあつたりと、気軽に面会に来れたり、イベント等に参加していただけるような信頼関係を築けるよう努めています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族の訪問、外出、外食や外泊等ご家族との関係を維持できる様に支援しています。又いつでも電話や手紙等のやり取りもできる様に対応しています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の友人、知人等の訪問や今までの生活での馴染みの場所（自宅、お墓、病院や美容院等）柔軟に対応しています。		
31 利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様の性格や生活歴等を把握して、ホーム内での気心許せる関係を築き、共に支えあい、助け合える様に支援しています。		
32 関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用（契約）の終了時には、いつでも気軽にお立ち寄り頂ける様、又相談事があれば気兼ね無く連絡をして下さい。とお伝えをしています。契約終了されたご家族の方に遊びに来ていただいたり、相談を持ちかけられた事もあります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者様一人ひとりに思いや意向を聞き、本人の意思を極力尊重して生活を送っていただいています。困難な場合はその人の性格や生活歴、現時点での精神状態等を考慮し生活を送っていただいています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所の際、利用者様やご家族より生活歴や生活環境、趣味等をお聞きし、その人に合った生活が送れる様に支援しています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人ひとりの心身状態を把握し、有する力を発揮できる様、出番や役割を見出し残存機能低下の防止や日々の活力に努めています。</p>	
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的なカンファレンスを開き、利用者様やご家族の意見、要望をお聞きし、管理者、サービス計画担当者、職員と話し合い介護計画を作成しています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に応じて見直しのカンファレンスをし、常態変化時にも利用者様やご家族の意見、要望をお聞きし、管理者、サービス計画担当者、職員と話し合い介護計画を変更しています。</p>	



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録表にその日の利用者様のニーズについて記録し、ミーティング等で職員間で話し合い、介護計画の見直しに活かしています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者様やご家族の意見、要望に対し、ホームが可能な限り柔軟な対応にて支援をしています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的にボランティアにはホームに来所して頂き活動をしていただいておりますが、利用者様の意向とは言えない。		利用者様の意向をお聞きし、地域資源の協働に努めて行きたいと思えます。
41	他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者様によっては、他のサービスを受けてみえる方もいますが、地域のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いには至っていません。		利用者様の意向をお聞きし、必要に応じて他のサービスが利用できる様に地域のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いを設け、対応できるように支援して行きたいと思えます。
42	地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現時点まで必要性が生じていない為、地域包括支援センターとの協働には至っていない。		利用者様の意向をお聞きし、必要に応じて長期的なマネジメントが行えるように、地域包括支援センターと協働して行ける様に努めたいと思えます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所の際、利用者様、ご家族には協力医療機関の説明を行い納得していただき定期的に診察を受けています。又今までの医療機関をご希望される方もみえ、ホームとご家族との協力の下、安心して受診をしていただいています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関においては、認知症の受け入れも出来ており、症状など、職員からの相談も医師が適切に答えていただいています。入院の体制も整っています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤勤務に看護師を配置し、利用者様の健康状態、精神状態を把握しており、職員がいつでも相談できる様になっています。また協力医療機関の医師とも連絡、相談ができるように支援しています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された際は、定期的に病院に行き、病院関係者、ご家族から情報を得て、早期に退院できる様に努めています。また退院時にはご家族、医師と話し合い、ホームでの介護、看護がスムーズに出来るよう準備を整えてお迎えいたします。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者様の状況に応じて、先々を予測し、早期の段階で利用者様、ご家族や医師と十分話し、方向性を見極め職員全員で方針を共有しています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者様の重度化や終末期を迎える際に、何度も医師やご家族と話し合いをし、ホームでのメリット、デメリットを伝え、利用者様にとって一番安心、安楽かを検討し、チームとして支援に取り組んでいます。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		<p>利用者様一人ひとりがどのように過ごしたいかを聞き、利用者様全員が満足のいく生活が送れる様に支援していききたいと思います。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>週1度くらいのペースにて全ての利用者様に好みをお聞きし、買出しに出かける回数を増やしてもっと食事が楽しめる様に支援していきたいと思ひます。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>利用者様の一人ひとりの希望、タイミングなどを聞き、出来る限り要望に沿った入浴ができるように支援していきたいと思ひます。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る利用者様にはご自分で管理していただき、難しい方は管理者が管理しています。金銭預かり書を作成し出費した際は、記録しています。		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	定期的に散歩、ドライブ、喫茶店、買い物等、その日の天候や利用者様の状態を見極め、希望をお聞きし外出しています。		
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別においては、自宅、墓参り、懐かしの場所等お連れしています。年間行事として、花見や遠足等、ご家族と共に外出の場を設けています。		
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用が可能な方には自由に使用していただいたり、職員に訴えて来られた際には正しく利用頂けるよう支援しています。家族や知人へ手紙のやり取りをされている方も見え、支援しています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	職員が笑顔で歓迎できる様、常に心掛けています。居室で過ごしていただいたり、共有のスペースで他の利用者様とも雑談していただいたりと気兼ねの無いように過ごしていただいています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様の危険性や負担の無いようにできる限り、自由に安全、安楽、安心して生活が送れる様に日々考え努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の構造上、2階建ての2階部分にユニットがあり、階段、エレベーターなどでの事故防止、及び安全性を考え施錠している箇所はありますが、玄関部の開放、利用者様が降りたい際には気軽に職員に声かけできる人間関係を作り、利用者様、ご家族様にご理解いただいています。		階段は急な為、事故防止、安全性を考えると開放は難しいが、エレベーター部の開放を安全を考えた上で検討し、実施できるよう試みたいと思います。
67 利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常日頃から職員は利用者様の居場所や動きを観察し、いつでも事故が起きないように注意を払い見守りに徹しています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品、洗剤等の在庫は倉庫に保管し必要最低限の物は所定の場所に置き、利用者様の能力に合わせてお使いいただいています。又キッチンの物品等には職員が見守りながら利用者様に使用していただいています。		
69 事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常日頃から利用者様の居場所、動きを観察し見守りをし事故が無いように努めています。行方不明になった場合の為に利用者様の顔写真、生年月日、連絡先等記入したカードを作り対応できるようにしています。消防所による救命救急を受講し、年1度避難訓練を実施しています。		
70 急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師や救命講習を受講した職員を中心に年1～2回応急手当等のデモンストレーションを行い職員全員が対応できるように努めています。又マニュアルを見やすい所に掲示しています。		
71 災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1度、避難訓練を行い、災害時に速やかに避難できるように心掛けています。また外部のセキュリティーと連携し防火設備点検も行っています。		地域の人々の協力を得られる働きかけは行っており、今後は地域の防災訓練等にも参加し、地域住民の協力が得られるように働きかけていと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者様の状況変化等、今後の状態を予測し、メリット、デメリットをご家族様に事前に相談をし、利用者様にとって、一番安心、安全、安楽な方向性を考え対応策を検討しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、夜勤者からの申し送りをし、情報を得ると共に、バイタルチェックも行い、状態変化に速やかに気がつく様に心がけています。又利用者様の居場所、動きを常に把握する事により、些細な変化にも気づく様に努めています。		
74 服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心に、薬の管理を行い、利用者様の状態変化によって処方された新しい薬等は連絡帳にて職員全員が分かる様にしています。その情報を元に常に観察する事により、副作用による変化等も早期発見に繋がると考えます。		
75 便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	看護師を中心に排便チェック表を作り、常に利用者様の状態を把握しています。体操や朝、夕の水分補給も行い自然な排便を促していますが、便秘が続く様であれば、看護師の指示により、薬にて対応しています。		
76 口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を把握し、毎食後、一人ひとりに合った口腔ケアを促し、口の中の汚れや臭いが生じないように支援しています。		
77 栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立によりカロリー計算された食事を利用者様の心身の状態、体調、その日の予定など状況に応じて食事時間を調整したりと臨機応変な対応で確保できるよう支援しています。水分量は食事以外にも3回の水分補給を確保し、利用者様によっては水筒やペットボトルを用意して、居室に置いたりなどその人に応じた支援をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のマニュアルがあり、掲示してあります。利用者様、職員全員が年1度、健康診断、インフルエンザの予防接種を受けています。又常日頃より、利用者様、職員全員が手洗いやうがいを徹底して感染症の予防に努めています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎日新鮮な材料を業者に配達していただき、調理器具、食器類は定期的に消毒をし衛生管理に努めています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには花壇を作り四季折々の花々を植え、又敷地内には畑があり、家庭的な雰囲気作りに努めています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの南側窓からは外の森林が見え、季節ごとに変わる風景が一望できます。又施設内に季節を感じる草花を飾ったり、外からの陽射しを調節するブラインド、共用部の照明を切り替えたりなど利用者様が心地よく過ごせるよう工夫しています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースにはゆったりとソファーに座りテレビを見れる空間、足を伸ばせる畳の空間、談話ができるダイニングセット、休憩できる竹ベンチがあり、それぞれ自由に使っていただける様になっています。		



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

自然がいっぱいの森林や湖畔のすぐ近くにひだまりの家はあり、敷地内にはお花畑や野菜畑など、季節ごとのお花や野菜、季節ごとに変わりゆく景色を身近に感じることができる環境です。利用者様が「我が家のようにくつろげる、やすらぎのある生活を支援する」の施設全体の基本理念、各ユニットごとの理念「くつろぎ」「やすらぎ」を胸に、利用者様が安心、安楽した生活を送れるよう職員一同ケアを行っています。

又、認知症において(笑っていただく事)が一番大切なケアと念頭に置き、職員一同は常に利用者様に心から笑っていただける様に接しています。当事業所はグループホームでのターミナルケアに力を入れており、現在までにホーム内での看取りも数件ありました。利用者様の心身の状態、ご家族、ご本人の希望を出来る限り実現できるよう病院との連携を図り、馴染みの場所で安心して穏やかに最後の時を迎えられる、温かいケアの提供を目指しています。